

大正区第九合唱団の
すべてのあなたへソリスト
アルト 野上 貴子

「第六回大正区第九演奏会」のご成功、おめでとうございました。

そして今年も大変お世話になりました。

心よりお礼と感謝を申し上げます。

懇親会の際に原稿を頂戴してから一ヶ月程が経とうとしています。

以来、頭の片隅に真っ白な原稿がそこにありました。

スタートしてから六年が経ちました。

その時、「歌」を通じてあなたと巡り合いました。

これって、たまたま？

熊本先生の洗礼！？を受けて基礎が出来、諸先生方の指導にて「歌う声」となり、そして今年も素晴らしい大正ハーモニーとなりました。

あなたにとって大正区の「第九」は何回目ですか？

初めてと二回目、今年は何か違いましたか？

私？毎回違います。

違う点は何かなと思うと、そこに「心の声」があると

いうこと。

「第九」は同じです。

あなたと私の「心の声」は同じように歌っていて、感情はその時その瞬間なのです。

（お酒は変わらさうまい！！失言、お許しを・・・）

最近の私の「心の声」は偏っています。

そんな時あなたから大切な物を頂きました。

何を？

あなたは心から楽しんで

います。

一曲を沢山のあなたと歌い、あなたの「声」を感じた瞬間、常識をこえたふし

ぎな現象——奇跡を目の当たりにします。

たまたまではなくて、あなたと私の奇跡に改めてお

礼申し上げます。

巡り合わせて下さった、沢山のあなたに——。

ありがとうございます。

「どや顔」で熱唱

ソプラノ
中塚 八寿子

あーりよかったです今年「第九」演奏会に出演でき

て・・・

昨年は演奏会一週間前にインフルエンザにかかり、

敢え無く出演を断念し、当日は観客席で聴かせて頂きました。

とても感動しました。と、同時に此処まで練習してきた、舞台に立てなかつた悔しさがあつたのも事実です。

やはり私は、歌を聴くより歌うほうがより楽しい、と改めて気付かされました。

そんな事もあって、今年

は健康に十分注意し本番に臨みました。

身近にオーケストラの演奏が聴けることもあり、今

回初めて家族全員が来てくれました。

今迄は、なんだか聴いて

もらうのが恥ずかしかった

ので、敢えて呼びませんでした。

家族からは、自宅です

も大きな声を出して練習す

るので、迷惑がられています。

夜中、お風呂の中で「ひ

とりぼつちのひつじかい、レイオドゥ・レイオドゥ・レイオドゥ」練習していると「やかましい！何時や思っ

てんねん、近所迷惑や！」

つて、いつもいつも怒られています。それが、それにもめげず、本番は「どや顔」で歌いきりました。（笑）

諸先生方はじめ、フロイ

デの皆さんに出会えた事に

感謝して、これからも楽し

く日々練習に励み、又、こ

のような大きな舞台で歌え

る事を心待ちにしています。

いつもお世話に

「ええっ！ 体育館？」

舞台と客席は？音響や照明

は？経費は？合唱団は？

演奏会をこれから組み立て

るには、一体どれくらいの

業務量になるのやらと溜め

息しきり。

そして連日、時間内外に

わたり諸業務に追われ、あ

あでもないこうでもない、こ

うすればああすればで、

大正区役所市民協働課
課長代理 酒井 和 宏

苦心惨憺疲労困憊？の末、初回演奏会を迎えました。

平成十九年二月の、それは寒い日でした。

早くから開場を待つ長い

列、客席を埋める人々人に

感謝し、演奏・合唱に熱い

ものを感じつつも、スタッ

フ業務に意識集中で、それ

こそあつという間の演奏会

だった事を覚えています。

そして演奏会には六回目を

数え、私も六回目の従事で

す。

第六回当日は、十五のセ

クシヨンに三十五名を配置

中には終日の会場外配置

もあり、さぞ涼しかった？

スタッフも。

ところで会場内のスタッ

フは演奏会を見ているよう

で、実のところあまり見て

はいません。

でも遊んでいるわけでは

ありません。

担当業務について「次は

あれ、そしてこれ」などと

絶えず考えていて結構動き

回っているのです。

私も開演から終演まで、

ずっと見ていたことがあり

ません。

でも、皆さんの気迫はひと

しと感得していましたよ。

ご苦労様、お疲れ様。